



令和7年度 学校だより  
**城南っ子**

〔学校教育目標〕  
自律的に学び、認め合い、  
ともに成長しようとする児童の育成  
○自律的に学ぶ子 ○仲間を大切にする子 ○心身ともに健やかな子

那覇市立城南小学校  
令和8年1月7日  
第38号  
文責：校長 田島正敏

**新年 明けましておめでとうございます まための2学期後半がスタート！**

新しい年になりました。そして、2学期後半が始まりました。1月5日はMeetで、子どもたちと元気に新年の挨拶をしました。残り1月から3月までの3ヶ月間といつても、学校に登校するのは、正味6年生が50日、1年生から5年生が51日と短いです。この期間は進級・進学の準備をする大切な期間でもあります。新年の挨拶の中で、今の学年でやり残したことはないかな？学習面ではどうかな？生活面では？と振り返り、新年のめあてを立ててほしいこと。そして、このような節目節目を大切にすることで、強い風もしなやかにいなし、ポッキリと折れずまっすぐ伸びる竹のようにたくましく強くなってほしいことを子どもたちにお話しました。ちなみに、私のめあては「元気なあいさつの飛び交う学校にする」です。これは私1人の努力では実現が難しいめあてです。みなさん協力してくださいね。

楽しい冬休みも、あっという間に終わりました。事故に遭ったり大きな病気にかかるつたりする友達もいなかつたと聞いて安心しています。今週末は3連休になります。引き続き子供たちの安全面、生活リズムの乱れと健康面への配慮をよろしくお願いします。



6日(火)は校内書初め会を行いました。書初めは、新年の始まりに新たなる決意や目標、めでたい言葉などを筆に込めて表現する古くから伝わる行事です。良い文字を書くには、心を落ち着けて丁寧に書くことが大切です。おしゃべりして良い文字は書けません。各学年のように見に行くと、1年生・2年生は硬筆ですが、姿勢につけて集中して書いている印象でした。静かに取り組んでいました。

4年生と5年生は机椅子を寄せたスペースとワークスペースを使い、一人一人の間隔を広くとれるようにして取り組んでいました。3年生と6年生は体育館を使い、広々とした空間で、真剣に取り組んでいる姿が印象的でした。



**書き初め会**

1・2年生は鉛筆とペンを使って1字1字丁寧に書いていました。



3・4年生は、一字一字集中して書いていました。



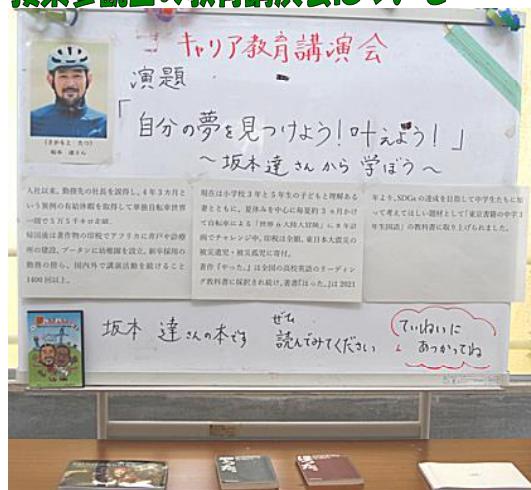
さすが5・6年生。しっかり筆を立てて文字と文字のバランスも考えて書いています。



9日(金)に授業参観とともに行われます教育講演会は、子供服ブランド『ミキハウス』の社員でありながら、無期限の有給休暇をもらい『自転車で世界一周』を4年3ヶ月達成。その経験を本や講演活動を行いみんなに伝えている坂本達氏のお話です。どのような話が聞けるか楽しみです。

左写真は5・6年生のフロアで紹介されている著書やDVDです。下の文は、ここに坂本達氏の紹介文です。どんなお話かなと興味を抱かれた方には、是非聴いていただきたいです。

**授業参観日の教育講演会について**



入社以来、勤務先の社長を説得し、4年3ヶ月という異例の有給休暇を取得して単独自転車世界一周で5万5千キロ走破。帰国後は著作物の印税でアフリカに井戸や診療所の建設、ブータンに幼稚園を設立。新卒採用の勤務の傍ら、国内外で講演活動を続けること1400回以上。現在は小学校3年と5年生の子どもと理解ある妻とともに、夏休みを中心に毎夏約3ヶ月かけて自転車による「世界6大陸大冒険」に8年計画でチャレンジ中。印税は全額、東日本大震災の被災児童・被災孤児に寄付。著作『やった。』は全国の高校英語のリーディング教科書に採択され続け、著書『ほった。』は2021年より、SDGsの達成を目指して中学生たちに知って考えてほしい題材として「東京書籍の中学校国語」の教科書に取り上げられました。



**年末年始の俳句(4年生)**

